

「ひとめぼれ」はずっと親しんできた、 地力に合った品種だと感じていきます。

親しみのある 「ひとめぼれ」

潟上市天王地区で、「ひとめぼれ」と「あきたこまち」を栽培しています。「あきたこまち」を手掛けるようになったのは昨年からです。それまでは「ひとめぼれ」一本でした。以前から「ササニシキ」を食べ慣れていたこともあり、「ササニシキ」の食感に似た「ひとめぼれ」は、食味としても親しみのある品種です。

昨年度の栽培と受賞

昨年はハウスで育苗する段階から「苗の育ちがいいな」と感じてい

ました。伸びがあるために倒伏しないか心配していましたが、台風で少し倒れた程度で済んだことが幸いでした。一昨年より粒の揃えがよくないかとも思っていたのですが、「美味しい米」コンクールで優秀賞に輝いたと知ったときはびっくりしましたね。「ひとめぼれ」がこの地力に合っているのかなと思っています。

「ひとめぼれ」と 「あきたこまち」

「ひとめぼれ」は、「あきたこまち」より収量が多く、病気に強い

品種です。水はけなどの性質は水田によって様々ですので、生育に合った水管理を心掛けていきます。どこでも除草剤がなかなか効かなくて、雑草には手を焼いていますね。うれしいのは、やっぱり収穫のとき。生育の途中で「今年はどうだろう」と心配な点があっても、いざ収穫のときに予想以上の出来だと、よかつたなと安心します。

「あきたこまち」はもちもちとしていると言われますが、普段食べている「ひとめぼれ」にも、もち感がしっかりあると感じます。「あきたこまち」に引けを取らないくらい美味しいと思って作っているので、ぜひ食べてみてください。

